

## 藤樹人間学塾： 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに、時事問題と組み合わせることで議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

### ■ 四月、第百二十四回人間学塾の参加者は八名でした。

#### ● テキスト

『鑑草』の第一巻「孝行と不孝の報い」の第二話と第三話。

#### ● あらすじ

第二話「ある一家に様々な困難な状況が押し寄せたが、三代にわたる婦人の孝行のお陰で一家に大きな幸福が訪れた」、第三話（略）

#### ● 配布資料

平川理恵さんの生き方、等。  
フリートーカーキング

- ・ 近年、三十代、四十代の離婚が増えている↓辛抱することを教えられていないからだろう。
- ・ 辛抱しなくて離婚しても生きていける豊かな世の中である。
- ・ 親が子供を過保護して自立を妨げているケースもある。↓人類は知識の蓄積はでき豊かになったが思いやりの精神など人間学は一から学ぶ必要がある。

### ■ 五月、第百二十五回人間学塾の参加者は四十代の初参加者を入れて十名でした。

#### ● テキスト

『鑑草』の第二巻「守節背夫の報い」の序と第一話。

#### ● あらすじ

「郡の長官の家に生まれた房氏は、幼いころから清らかな心を持っていた。成長して嫁いだ家は貧しかったが、（以下略）」

#### ● 配布資料

横田南嶺「色即是空」等。  
フリートーカーキング

- ・ 寡婦の手で育てられた子は父親より出来が悪いというのはなぜだろうか。↓経済的な側面があつたのではないか。
- ・ 今日の話も心にヒットした。改めて学び直すことが大切だと気付かされた。



### ■ 六月、第百二十六回人間学塾の参加者は大阪からの初参加者を入れて十一名でした。

#### ● テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第二巻第二話、第三話。

#### ● あらすじ

第二話「張氏の妻、計夫人は、聖人の教えを大事に守っていたが、二十五歳の時に張氏が亡くなった（以下略）」

#### ● 配布資料

日経「私の履歴書：矢野龍」等。  
フリートーカーキング

- ・ 矢野氏の生い立ちは私の父の境遇と似ていて、不幸なことがあつてもそれが人生の節になつて成長していけるものだと感じた。
- ・ 両親が早く亡くなったがルーツを知りたく家系図を作った。今ある命を大切に生きたい。

### ■ 七月、第百二十七回人間学塾は初参加者三名を含む十四名の参加でした。うち女性が四名でした。

#### ● テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第二巻第四話、第五話

#### ● あらすじ

第四話「不義密通していた男が帰ってきた亭主の優しさを知つて（以下略）」

#### ● 配布資料

竹田弘行「孝経」が教える生き方」等。  
フリートーカーキング

- ・ 古文書を調べていると、江戸時代の女性は意外に力を持っていたことが分かる。

- ・ 日本のジェンダー（性別）差別は今なお根強いと感じている。
- ・ 強欲な夫と賢明な妻の話は、現代にも通じる。

### ■ 八月、第百二十八回人間学塾は九名の参加でした。

#### ● テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第二巻第二十三話～二十五話

#### ● あらすじ

第二十三話「李尉の妻は世にもまれな美人だったが（以下略）」

#### ● 配布資料

吉田公平先生の手紙「藤樹の性善悪混然説について」等

#### ● フリートーカーキング

- ・ 藤樹先生の性善悪混然説について、確かに人間を見てみると自分も含めて性善説、性悪説で括れない面があると考えている。
- ・ ユングの『タイプ論』の中に中江藤樹が出てくる。藤樹先生は最晩年、人間は性善、性悪の二極を超えたものであるとみられていたのではないか。

等の意見をいただきました。ありがとうございます。人間学に関心のある方は是非お越しください。心からお待ちしています。

### 藤樹人間学塾 今後の予定

十月一日（土）、十一月五日（土）、

十二月三日（土）、一月七日（土）

■ 時間（原則） 十五時～十七時

■ 場所（原則） 安曇川公民館